



「不満、ではなく、不安、を知ってほしい…」

Kさん、78歳 男性は、難病があり、食事が思うように摂れなくなり『ケアホーム希望』を利用して3ヶ月になる。



本人も妻も「胃ろうは、したくない」。妻も「口から食べて美味しさを味わってもらいたい」と願うが、飲み込みが悪くなり、誤嚥性肺炎で入退院をくり返していた。

入院するたびに安静臥床を強いられ、抗生剤投与の点滴やらで、食事は中止となってしまふ。また、少しでもベッド上で身体を動かすものなら、危ないと抑制され、動けないストレスからか、大声を出すと静かにするようにと安定剤や睡眠剤を投与される。身体機能の低下はもとより、認知機能の低下もしていく。

家族はできる限り入院はさせたくないとの願いはあったが…。

ある日、『ケアホーム希望』の「通い」サービスを利用中に下血し、救急にて某病院に入院となった。検査の結果、胃潰瘍であると診断された。

輸血や点滴等で治療が始まり、妻は心配で様子を見に、毎日面会に行く。日々、目に見えて活気がなくなってきている姿を目の当たりにする。

これでは胃潰瘍が治ったとしても、口から食べれなくなり、寝たきり老人になってしまうのではないかと不安になり、家族は早期の退院を願ったが、病院の医師からは、なかなか退院許可が出されなかった。

妻は「早く夫を ケアホーム希望 で面倒をみてもらいたい」と、必死に訴える。

家族と共に医師と話し合いを行った。胃潰瘍は治療できたが、今度は誤嚥性肺炎を起こしているので更に一週間くらい退院が延長になるとのことだった。

妻が面会に行く度に夫の身体機能が低下し、衰弱してきているので不安があると訴えるも、病院側はなかなか耳を傾けてくれない。看護小規模多機能型居宅介護ケアホーム希望では、往診医に指示をもらえれば治療ができることを医師に伝えたと、やむを得ずだが、退院することを許可された。

医療サイドにしたら大したことではないことも沢山ある。まして医師は多忙でもあり、大勢いる患者一人一人に向き合う時間は少ないことも十分理解できる。

息子は 病院側に「不満、ではなく、不安、を 先生方にわかってほしい」と。この息子の一言にとても共感できた。

Kさんは、約2週間入院し、退院後は『ケアホーム希望』の「泊まり」のサービスを利用して、Kさんらしい表現や大好きな歌を歌いながら発声も良くなってきて、少しずつではあるが口から食事が摂れるようになったことに妻も ホッ としている。



新型コロナウイルス感染症対策について



新型コロナウイルス感染症の発生以来、世界各地から感染報告が続いています。都内でも集団発生や感染経路の不明な患者報告がありました。この状況を考慮し、利用者本人およびご家族の皆様には 感染防止のため、送迎や訪問時に 体調面で気になることがありましたら職員へ必ずご報告ください。ウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。近距離での会話等には 注意が必要です。

特に 高齢の方は 重症化しやすいため、手洗い、うがいが 大切です。外出先からの帰宅時や食事前などは、こまめに石けん、アルコール消毒液などで手洗いをお願いします。普段から十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めておくことも重要です。



インフルエンザ対策と同様に 咳エチケット(マスク着用)や手洗いなどの 感染対策を各ご家庭でも徹底して行ってください。



歌♪声♪喫♪茶



幸せなら手をたたこう～



ここはいつも賑やかでほんと楽しいわ

歌声喫茶最高～!

福は～内

～節分～

鬼じゃない俺に豆をぶつけないでくれよ～

本気で豆ぶつけないで～(泣)



みんなおもしろいね～



鬼は～外

